

令和 4 年度 上 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岩野田児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市栗野東1丁目95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 中部学院福祉会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,825,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,095.03㎡ ◇延床面積:532.42㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		R4上半期	R3下半期	R3上半期	R2下半期	R2上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	6,352	5,854	4,181	5,743	3,220
	移動児童館利用者数	197	216	237	304	0
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※12(12)	※8(8)	※10(10)	13	0
	開館日数(単位:日)	155	150	93	150	101

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①・⑤ おおむね計画通り実施。事業については、新規事業の実施により、事業計画書記載の実施予定日から一部変更し、実施している。 ② 所長(常勤・児童厚生員)、常勤職員1人(体育指導員・児童厚生員)、非常勤職員5人(※全員が児童厚生員) ③ 児童センターだより「わくわく」を毎月発行、配付(近隣の3小学校・3公民館へ配付、全自治会員回覧、近隣の4幼稚園・2保育園、岐阜市北保健センター、近隣のイベントホール等へ配付)。ホームページへも掲載。指定管理者の広報誌にも児童センターでの行事の様子を掲載。 ④ 常時、アンケート回収箱(ご意見箱)を設置し、利用者の意見・感想、要望等を把握、課題解決に努めている。対応を、アンケート回収箱近くに掲示。 また、半期に1度、利用者アンケートを実施、詳細な実態を把握後、課題解決に努めている。アンケート結果と対応を、館内廊下2か所に掲示。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	① 適切に実施。 ② 館内清掃を毎朝、全職員で遂行。開館中は、利用者に使用済の玩具を回収箱に入れてもらい、職員が定期的に回収箱を確認、破損等を点検しながら使用玩具を消毒、利用者が使用できる場所に戻す。オゾン式保管庫も活用。各部屋の出入り口のドアノブ、トイレ便座、トイレスリッパ、洗面台等も、定期的に消毒。閉館前には、使用された玩具や運動用具をすべて各階の1部屋に集め、破損等の点検、その後クロール水を室内に噴霧、消毒。週2回は、就労促進事業清掃班による館内清掃。トイレスリッパについては、月1回、ハイター消毒液でつけ置き洗浄、消毒。年3回床のワックスがけ・エアコン清掃・ガラス磨き等を委託業者に依頼、徹底清掃。新型コロナ対策として、上記消毒の徹底、検温用サーマルカメラの活用、利用時間制限、換気等、感染防止策を徹底している。 ③ 経費縮減の必要性について全職員で共通理解し、日常業務の一つ一つについて「経費縮減につながる工夫はできないか」「大きな縮減はできなくても、小さな縮減の積み上げが大切」という視点で日々見直しを進めている。こまめな室温・照明の調節、廃材、新聞・チラシ、裏紙の活用等、全職員で取り組んでいる。備品購入・委託事業等は法人の経営する他施設と一括することで経費の節減を図っている。 ④ 毎朝・夕の施設周りの点検を実施。玩具については、消毒時や片付け時に1日複数回点検。破損がある場合は、おもちゃ病院の方に修理を依頼。屋外遊具の定期点検(年2回)実施。

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	① 児童センターの屋内・外環境について、安全・安心・利用しやすさ等の視点で見直し、日々改善を進めている。毎日の点検時に発見した箇所については、速やかに職員の手で修繕し、業者対応が必要な箇所については市担当課に連絡、相談、指定管理者（法人本部）とも相談し方針を決め速やかに対応している。 ② 簡易な修繕については、児童センター職員で対応。必要に応じ、指定管理者（法人本部）にも連絡、相談し、迅速・適切に対応している。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③ 適切に実施。 年度当初、全職員で、各種マニュアル、関係法令等について、内容・対応を確認、共通理解している。安全・安心・利用しやすさ等の視点で、日々の業務を全職員で見直し、随時改善を加えている。改善内容については、スタッフインフォメーションファイル等に記録し、全職員に周知することで、事故・苦情等の防止に活かしている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間：令和4年6月23日～令和4年8月30日 回答者数：81人 <小・中・高校生用アンケート> 期間：令和4年6月23日～令和4年8月30日 回答者数：103人（小学：1年16人、2年16人、3年23人、4年19人、5年6人、6年19人） （中学：1年3人、2年0人、3年0人）（高校：1年0人、2年0人、3年0人）（無回答1人）
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 岩野田北(27人)、岩野田(21人)、常盤(6人)、鷺山(4人)、長良東(3人)、長良西(2人)、本荘(2人)、その他市内(7人)、その他市外(8人)、無回答(1人) 【年齢】 10代(0%)、20代(15%)、30代(69%)、40代(11%)、50代以上(5%) 【利用頻度】 初めて(17%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(0%)、週1回(27%)、2週に1回(8%)、月1回(27%)、その他(21%) 【来館相手】 子(87%)、孫(2%)、友人(4%)、その他(7%) 【子・孫の年齢】 0歳(18%)、1歳(22%)、2歳(31%)、3歳以上(29%) 【来館方法】 徒歩(12%)、自転車(2%)、自家用車(86%)、公共交通機関(0%)、その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(28%)、広報紙・チラシ(8%)、学校(4%)、保育所・幼稚園(1%)、知人・友人(29%)、ぎふし子育て応援アプリ(1%)、ソーシャルメディア(0%)、その他(29%) 【評価】 (あいさつ) 満足(90%)、ほぼ満足(7%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(90%)、ほぼ満足(7%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(88%)、ほぼ満足(9%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (利用しやすさ) 満足(75%)、ほぼ満足(19%)、普通(2%)、やや不満(4%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(87%)、ほぼ満足(12%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(90%)、ほぼ満足(7%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(90%)、ほぼ満足(9%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 岩野田北小(69人)、岩野田小(18人)、常盤小(7人)、岩野田中(3人)、その他市外(6人) 【学年】 小学： 1年(16%)、2年(16%)、3年(22%)、4年(18%)、5年(6%)、6年(18%) 中学： 1年(3%)、2年(0%)、3年(0%) 高校： 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 無回答(1%) 【利用頻度】 初めて(12%)、毎日(0%)、週4・5回(7%)、週2・3回(15%)、週1回(33%)、その他(33%) 【来館相手】 ひとり(13%)、友人(44%)、父母(22%)、親戚(0%)、その他(21%) 【来館方法】 徒歩(25%)、自転車(35%)、自家用車(37%)、バス・電車(0%)、その他(3%) 【好きな遊び】 バドミントン(17%)、マルチパネルハウス(12%)、ドッジボール(10%)、人生ゲーム(9%)、卓球(8%)、バスケット(6%)、皿回し(5%)、その他(33%)

利用者からの 要望・苦情と 対応・改善	<保護者> ・いつもお世話になり、ありがとうございます。 ・いつも丁寧に対応していただきありがとうございます。 ・いつも優しく対応してくださりありがとうございます！ ・親切でみんなとても温かいです。 ・いつも優しくて明るい先生方なので、来やすいです。 ・どの方もとても親切に接していただきありがとうございます。 ・親切に色々教えて頂きありがとうございます！ 帰省の際にはまた利用させて頂きたいです。 ・いつも親切に、にこやかに対応して頂いてありがたいです。 ・いつも笑顔で子どもに寄り添って対応してくださるので嬉しいです。親子共々、安心して参加できました。 ・小4の息子がほぼ毎日のようにお世話になりありがとうございます。先生が優しくじっくり話を聞いてくださっているのでも息子も安心して楽しんでいるようで嬉しいです。 ・説明していただけてわかりやすかったし、気遣って頂き、また来たいと思いました。 ・使いたいおもちゃを、すぐに消毒していただきありがとうございます ⇒児童センターのよさを、たくさん教えていただきありがとうございます。利用者の皆さんに、児童センターで安心して楽しい時間を過ごしていただけるように、今後もセンター職員全員で、環境整備や活動支援に努めていきたいと考えております。ご理解、ご協力をお願いいたします。 ・トミカ系のおもちゃを増やして欲しい。 ・おもちゃが他の児童館より少ないのもう少しあると楽しめるなと思います。 ⇒新型コロナウイルス感染予防のため、使用後のおもちゃは回収させていただき、消毒後、再提供させていただいております。その日の利用状況やおもちゃの使用状況により、使用可能なおもちゃの数が少なくなることも予想されます。使用済みのおもちゃの回収状況に気を配り、できる限り早く消毒し再提供できるように対応していきたいと考えております。よろしく願いいたします。 ⇒新しいおもちゃにつきましては、少しずつではありますが、順次購入予定です。児童センターにあると、利用者の方が楽しんで活動できるおもちゃがあれば、センター職員にぜひお声掛け、ご紹介ください。よろしく願いいたします。 ・乳児・幼児が安全に遊べる戸外の遊具があったらいいなと思います。 ⇒屋外での遊びにつきましては、センター南側が安全な活動スペース(運動広場)となっております。そこには現在、トライアルラダー(体育遊具)が設置されており、その東側は、モルックや一輪車などの活動場所となっております。現状、屋外での新たな遊具の設置は難しい状況ですので、乳幼児が遊戯室を優先的に利用できる午前中に来所いただき、おもちゃ図書館に置いてある乗用玩具や手押し車等を楽しんでいただければと思います。よろしく願いいたします。 ・人気おもちゃランキングが知りたい。 ⇒人気おもちゃランキングについては、児童センターでの今後の玩具購入の参考にもなりますので、時期をみてアンケートでの調査を実施したいと考えます。よろしく願いいたします。 ・写真の缶バッジを増やしてほしい。 ⇒今年度中に、缶バッジ作りのイベントを計画、実施予定です。児童センターだより「わくわく」に案内を掲載しますので、お申し込みください。 ・駐車場が少し入りづらいです(どうにもできないことだと思います)。 ・駐車場をとめる所がもう少しあればありがたいです。 ・駐車スペースがもう少し広いと、うれしいです。 ⇒駐車スペースにつきましては、ご不便をおかけしており申し訳ありません。その日の利用状況、混雑状況により、屋外での遊びや活動を制限した上で、児童センター南側スペース(運動広場)を駐車場として利用する対応も行っております。よろしく願いいたします。 ・屋外で子どもが安全に遊べるスペースがあればいいなとおもいます。 ⇒屋外につきましては、トライアルラダー(体育遊具)が設置されているセンター南側が安全に遊べる活動スペース(運動広場)となっております。利用状況、混雑状況に応じて、安全に遊べるように活動人数や活動内容について調整させていただきまので、ご利用される際は、センター職員にお声掛けください。 ・小学生と保育園児と一緒に遊ばせられないか？ ⇒現在、岩野田児童センターでは、保育園児が利用できる部屋はおもちゃ図書館(4歳未満の乳幼児)、遊戯室(午前中、乳幼児優先)、幼児室(乳幼児利用)、小学生以上が利用できる部屋は遊戯室(午後、小学生以上優先)、学習室・集会室(小学生以上)となっています。保育園児と小学生以上の児童との体格差や活動内容の違いを考慮し、安全面等の配慮から利用できる部屋を別にしております。ご理解、ご協力をお願いいたします。 ・保育園の情報提供 ⇒1階おもちゃ図書館前廊下に幼稚園・保育園情報コーナーを設け、岩野田児童センター近隣の幼稚園・保育園の紹介パンフレットを置いています。自由にお持ち帰りいただけますので、ご利用ください。(クラブへの意見) ・近くにあまり公園がないので児童館の存在がとてもありがたいです。これからもお世話になります。よろしく願いいたします ・いつもありがとうございます。とても楽しく参加させていただいています。毎週とても子どもが楽しみにしています。 ・いつも楽しく参加してます。ありがとうございます。 ・やったことのない遊びができて、子どもも楽しそうでした。ありがとうございます。 ・コロナ禍で、なかなか家で活動できな心配していましたが毎回子どもも楽しそうに参加できて、とても良い機会でした！また次回も参加したいです ・いつも家庭ではできない活動をさせていただけて、親子共々楽しませてもらっています。ありがとうございます ・いつも楽しいです！子どももとても楽しんでます。 ・同年代の子との関わりが持て、よい機会になりました。来年4月から保育園へ通うので、親以外の大人の存在にも慣れてくれたのではないかと思います。ありがとうございます。 ・無料でベビーマッサージができて良かったです！月に2回くらいあるのもありがたいです。 ⇒児童センターのよさを、たくさん教えていただきありがとうございます。利用者の皆さんに、児童センターで安心して楽しい時間を過ごしていただけるように、今後もセンター職員全員で、環境整備や活動支援、各種イベントの計画・実施に努めていきたいと考えております。ご理解、ご協力をお願いいたします。 ・家ではなかなかできない、絵の具や粘土、泡遊び等をたくさんできるとうれしいです。 ⇒今年度、「スタンプ遊び」や「フィンガーペインティング(パパの子育てクラブ)」等を実施し、参加いただいた方にも大変好評でした。今後も、児童センターだからできるイベントを計画、実施していきたいと考えております。よろしく願いいたします。 ・パパ参加型も増やしてほしい ⇒今年度は年間2回、パパ参加型イベントを計画しています。パパの子育てクラブで実施したフィンガーペインティングは、参加いただいた方にも大変好評でした。今後も、お父さんも参加しやすい活動内容や開催日時にも配慮し、パパ参加型イベントを計画、実施していきたいと考えています。よろしく願いいたします。 ・ベビーマッサージ以外のイベントの開催 ⇒今年度、ベビーマッサージの前後に、「ふれあい遊び」や「リズム遊び」などを取り入れています。今後は、「おもちゃ作り」、「離乳食講座」などをメインに活動を工夫するなど、ベビーマッサージ以外の内容も充実させていきたいと考えています。よろしく願いいたします。 ・もう少し時間を長くして欲しい(コロナ禍なので難しいとは思いますが…) ・できれば30分以上で活動したい ⇒新型コロナウイルス感染対策の一つとして、多くの方が集まる密を避けるために参加人数を制限して2部制にしたり、1部終了後に消毒する時間を設けたりするために、30分という時間設定をしています。幼児クラブ第2期からは、参加申し込み人数が少ない場合は、2部制ではなく1回の開催として時間を45分とする対応をしています。ご理解、ご協力をお願いいたします。
------------------------------------	---

<児童>

- ・いつもたのしい
- ・楽しい……3
- ・ありません、ただとても楽しいかぎりです
- ・友だちとあそべてたのしい
- ・友達と遊べるのが楽しい
- ・友達とあそぶのが楽しい
- ・やさしい…2
- ・おもしろい
- ・Vわくわく隊楽しいです

⇒「児童館のよさ」を、たくさん教えていただきありがとうございます。

利用者の皆さんに児童センターをもっと好きになってもらえるように、利用者の皆さんに児童センターで安心して楽しい時間を過ごしてもらえるように、今後もセンター職員全員で、環境整備や活動支援に努めていきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

- ・サッカーボールを買ってほしい

⇒児童センターには、サッカーボールを使って安全に遊べる十分に広いスペースがありませんので、サッカーボールの購入は今のところ考えておりません。現時点でセンターにある遊具や運動用具を使用して、工夫して楽しく遊んでいただきたいと思います。

また、センターでもできる楽しい遊びがあればセンター職員に声をかけていただけるとありがたいです。教えていただいた新しい遊びの導入、必要な用具の購入も検討したいと思います。よろしくお願いします。

- ・先生とたくさんあそびたい
- ・たくさんの先生といつしよに遊びたいです
- ・せんせいとノットミントンがやりたい

⇒児童センターの全職員が、利用者の皆さんと一緒に遊んだり、活動したりできることを楽しみにしています。積極的に職員に声をかけ、遊びや

活動に誘っていただけるとありがたいです。これからも、センター職員から、時々、声をかけさせていただきます。よろしくお願いします。

- ・キャンペーン行事を多くしてほしいです

⇒今年度は、「新聞切り抜き作品作り」「発電モノづくり教室」「劇団ラッキー・キャッツのお話公演」など、新しい行事を計画、実施しています。

今後も、積極的に児童センターでできる行事を計画、実施していきたいと考えておりますので、センターだより「わくわく」で予定を確認され、ぜひ行事への参加をお願いします。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	S	S
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	S	S	S
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

○児童センター内の各部屋や玩具・遊具等の利用についての案内掲示や依頼掲示等を、利用者に見ていただけるか」「理解していただけるか」等の視点ですべて見直し、一新した。また、様々な外部機関から掲示、展示を依頼されるポスターやパンフレット等についても、分類・整理して掲示、展示しなおすことで、利用者の方が目的のものを見つけやすくなり、多くの方に、活用していただけるようになった。センターを利用する小中学生や、利用者の同伴者の方からも、「すっきりしましたね。」「わかりやすくなりましたね。」という感想をいただいている。センター利用に関するルールや依頼事項についても、全職員であらためて共通理解するよい機会にもなった。

○児童センターの環境や事務処理、利用者対応等、センターのハード、ソフト両面を例外なく新鮮な目で見直し、随時改善を加えている。上記の「センター案内掲示や依頼掲示等の一新」「ポスターやパンフレット等の分類、整理」、他にも「利用者への支援に必要な職員配置」「利用者支援に必要な専門性に関わる図書整備や職員研修(OJT)」「職員間で情報共有するための支援記録ノート」、「玄関や廊下、おもちゃ図書館等の物の配置の見直し(安全・利用しやすさから)」「見直し・改善内容を職員間で情報共有、徹底するためのスタッフインフォメーションファイル」等々、日々実践を進めている。

○利用者の中に、センター利用に関するルールの理解が十分ではない児童や、集団の中で活動する上で、安全面で言動に不安がある児童も見られ、利用者の多い火曜日から土曜日については、職員配置を3名(※利用者が特に多い水曜日については4名)とし、1・2階各フロアー、事務室に1名ずつ職員を置き(※水曜日は1階フロアーに2名配置)、配慮を必要とする児童への支援を徹底するよう努めている。また、児童理解、支援の手立てについても、関係図書を事務室に購入、整備し、幼稚園・保育園や小中学校での経験豊かな職員数名が講師となりOJT形式で、職員研修を行うなど、対応を進めている。日々行った児童への支援については、記録ノートに記載し、職員間で共有、累積している。

○上半期、新規事業として、「新聞切り抜き作品づくり」「トウモロコシの収穫、皮むきで食育体験」「発電モノづくり教室」「親子で一緒に描こう!!笑顔でエプロンコミュニケーション」「劇団ラッキー・キャッツのおはなし公演」を地元の諸団体と連携して、計画、実施した。

▷新聞切り抜き作品づくり
児童センター近隣地域在住の方を窓口に中日新聞NIEコーディネーターの方に講師を依頼し、小学生親子、中高生を対象として実施した。

▷トウモロコシの収穫、皮むきで食育体験
児童センター近隣地域在住の農家の方に協力いただき、幼児親子を対象として実施した。協力農家の方が市内外の農産物直売所に出荷されているトウモロコシを、茎に実がついた状態で無償で提供いただき、親子で、実を茎からもぎ取り、皮をむく作業を体験した。

▷発電モノづくり教室
岐阜工業高等専門学校の教員の方に講師を依頼し、小中高生を対象として実施した。岐阜高専の教員、ゼミの学生3名に來所いただき、手作りの風力発電機を制作した。

▷親子で一緒に描こう、笑顔でエプロンコミュニケーション
地域の青少年育成市民会議の方を講師に、幼児親子を対象として実施した。準備されたエプロン型の用紙に、「家族や友達との楽しい思い出」や「家族や親子のふれあいの様子」等を、マジック、ボスカ、クレヨンなどを使って親子で描いた。

▷劇団ラッキー・キャッツのおはなし公演
常磐地区・岩野田地区在住の方が座長や団員をされている劇団に公演を依頼し、小学生を対象として実施した。年度当初から、近隣地域の外部機関や団体、個人と連携した行事が企画できない情報収集に努め、多くの方の理解と協力を得て、上記新規行事を開催することができた。協力いただいた方々とは、来年度以降の連携も約束いただいている。また、新たにJA ぎふ岩野田支店と連携した「イチゴの植栽体験」の実施を10月に予定しており、現在、幼児親子を対象に参加者を募集している。岐阜栗野郵便局と連携した「消しゴムハンコづくり」も11月に予定しており、今後、小学生を対象に参加者を募集予定である。

○利用者の方と個別に関わることができる機会を大切に、来館された同伴者や、小中高生に必ず声を掛け、信頼関係づくりに努めている。乳幼児の同伴者の方からは、「幼稚園・保育園の情報を知りたい。」「子育て相談できる場が欲しい。」という要望を伺い、児童センター内に、「幼稚園・保育園情報コーナー」、近隣地域在住の専門家の協力を得て「発達・子育て相談」ができる場も設置した。また、利用者アンケートにも記載いただいた、「パパ・ママと一緒に参加のイベントがあれば参加したい。」という要望を受け、今年度から、保護者向け講座を「パパの○○」「ママの○○」という形に加え、パパ・ママの記載がない、「子育てキャンパス」という名称でも企画し、実施している。

○子育て支援
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度より継続して、幼児クラブを前・後半各8組定員で開催した。参加者の方には、消毒、検温、体調チェックを徹底してもらい、実施会場ではジョイントマットを幼児親子の数分敷き、隣との距離を確保した。前半終了後には、活動に使用した物やジョイントマット等の消毒を徹底して行った。
また、普段の来館時にも、クラブ開催時と同様に、消毒、検温、体調チェックをお願いし、密を避けて遊んでいただけのような声かけをしている。一度使用された玩具や運動用具は、使用済玩具・用具回収箱に入れてもらい、職員が頻繁に確認、できる限り早く消毒し使用していただけるように対応した。コロナ禍でも、安全、安心して来館できる環境づくりのために、職員の対応を徹底し、利用者への働き掛けも継続して行っている。

・児童センターのLINE公式アカウントを作成し、「幼児クラブ登録者」や「V・わくわく隊(小学生ボランティア隊)の児童」、「各行事参加者」「来館同伴者」等にLINE登録を丁寧に依頼した。LINEを活用することで、児童センターからの連絡、児童センター担当者や利用者との相互連絡等が簡単、迅速にできるようになり、利用者の利用しやすさにつながった。LINEを利用して、LINE登録者から児童センターへ個別に意見や要望を届けていただけるようになり、「利用者の方からの意見・要望→児童センターでの内容把握、対応策の検討→意見・要望をいただいた方への回答→対応策の実施」という改善サイクルを時期を逸せず、より迅速に行えるようになった。

○児童健全育成
・昨年度改善した入館カードの様式を今年度も続けて使用し、児童センター利用者の新型コロナウイルス感染防止に関わる意識の高揚を図っている。入館から受付までの動線(入館→消毒→検温→受付)に合わせてセンター環境を整備したことで、利用者の流れがスムーズになり、密にならず安全に入館受付を行うことができるようになった。また、入館時に預かる貴重品類も、互いの手に触れることなく袋を被せた容器で受け渡ししたり、マスクを忘れた利用者には、こちらから不織布マスクを提供したりするなど、すべての利用者が安全、安心して利用できる環境づくりを徹底している。トイレスリッパについても毎日アルコール消毒し、月1回、休館日前日の閉館後、つけ置き洗浄・消毒を行っている。。

・運動を楽しんでいる利用者の水分補給にも気を配り、様子を見ながら個別に水分を取るよう声を掛けるとともに、持参したお茶を飲みほした子や持参していない子には、センターで用意したお茶を使い捨て紙コップで提供し、熱中症予防に努めている。

・今年度、近隣地域在住の方を窓口 to 中日新聞NIEコーディネーターの方に講師を依頼し、小学生も親子で参加できる行事「新聞切り抜き作品づくり」を実施した。

○地域活動
・たからばこ、コッコのおはなし、おはなしポケット、おもちゃ病院は地域活動のため、新型コロナウイルス感染防止対策をとり活動いただくよう依頼した。

・児童発達支援や放課後等デイサービス事業者とも連携し、新型コロナウイルス感染防止対策を確認、共有した上で、各施設利用者の児童センター利用を進めた。

・岩野田・岩野田北まちづくり協議会と連携し、各団体のホームページに児童センターだより「わくわく」を掲載いただいている。

前回までの意見を踏まえた取組み状況	○新年度のスタートから、新型コロナ感染予防のために職員が行う、自身の健康チェックや利用者対応、消毒作業等について、随時職員打ち合わせを行い徹底してきた。上半期後半、新型コロナ感染拡大の第7波が顕著になり、再度、感染拡大防止を徹底する意図で、児童センター内の利用者への感染防止対応依頼掲示を見直し、利用者の関心を引き、理解しやすく、職員の利用者への声掛けにも活用できるよう、依頼案内や場所、方法等を工夫して再掲示した。 ○児童センター内外を、「リスク防止」の視点で点検、確認し、事故の未然防止に努めている。コロナ感染防止のための消毒・換気、玩具・運動用具・遊具等の安全点検、コーナークッションの貼付、コンセントカバーの取付、運動用具保管方法の見直し、事故防止のための注意喚起掲示の工夫・設置等、「まだ、すべきことがある」という意識で、全職員でリスク防止、対応を行っている。 ○児童センターでは、遊びや行事を企画したり、遊びを他の利用者に教えたりする小学生を募集し、V・わくわく隊(小学生ボランティア隊)として位置づけている。年度当初には、隊員の写真を撮り、個人写真入りの隊員バッジを職員と一緒に制作、配付し、隊員全員が来館時に身に着けている。同時に、今年度実施したい行事についても話し合っている。センターでは今年度新たに動画作成ソフトを準備し、隊員が中心となり様々な遊びのルールや上達するコツ等を説明する動画を作成している。隊員が主体となって動画の構成を考え、演者や撮影者も担当しながら作成を進めている。他にも、現在、近隣の畑を借り、JAぎふと連携し、サツマイモやジャガイモなどの野菜を栽培する活動も計画中である。
今後の取組み	○来期も継続して、近隣地域の外部機関や団体、個人と連携した行事が企画できないか情報収集に努め、利用者のニーズに合った新規行事を企画、開催していきたい。現在計画中のJA ぎふと連携した「イチゴの植栽体験」や郵便局と連携した「消しゴムハンコづくり」を実施につなげ、ブログ等でも紹介しながら、児童センターとの連携について地域の理解を広めていきたい。 ○来期も継続して、V・わくわく隊(小学生ボランティア隊)の活動の充実を図っていきたい。現在作成、準備している「遊びのルールや上達するコツ等を説明する動画」を完成させ、利用者がいつでも見られるようにセンター内に配置することで、V・わくわく隊のメンバーの達成感とボランティア活動への意欲を高め、次に計画している、近隣の畑を借り、JAぎふと連携して行う、野菜栽培につなげていきたい。

●所管課の意見

○利用者アンケートの回答者数の具体的な目標を設定して、利用者から幅広い意見を収集し、要望についてはその都度すぐに対応するなど、利用者の満足度が高まるよう努めている。

○「新聞切り抜き作品作り」や「トウモロコシの収穫、皮むきで食育体験」など地域の方々と連携して新規事業を多数実施している。

○「V・わくわく隊」というボランティア隊が遊びのコツやルールを説明する動画を隊員が主体となって作成し、館内で放送するなど、子どもたちが主体的に活動する機会を積極的に提供している。

○施設内に設置しているチラシ等の設置方法を見直したり、利用のルールが守れない利用者に向けて、利用のルールなどが書かれた掲示を各所に設置するなど、利用者が快適に利用できるよう環境整備に努めている。

●指定管理者評価委員会の意見

管理運営については適正になされている。

幅広い領域における社会資源を活用した子どもの健全育成への取り組みがなされているのは素晴らしい。